

School Library 11月号

令和6年11月28日発行 担当：図書委員会1年生

期末テストが終わり、日が落ちるのが早くなりました。秋です。外に出ると肌寒く感じるが増えてきて、体調管理が難しい季節になりました。

ところで皆さんは「〇〇の秋」と聞いて何を思い浮かべますか？読書、食欲、芸術、運動…たくさんの楽しみ方が人それぞれあると思います。季節の変わり目にたくさんの本に触れて、お気に入りの本を見つけるのも楽しみ方の一つです。是非、朝読書の時間や休み時間を利用して、本に触れる機会を増やしてみてください。

(担当：)

図書委員会では11/25～12/6の2週間、図書イベントを行っています。

今回、委員会で考えたイベントは・・・“図書館クエスト”

みんなの読書の力で“バック”にさらわれた図書子を取り返しましょう！
みなさん参加して楽しんでください！

私と読書 先生

今年度から東原中でも、朝読書の時間が始まりました。朝の10分間で心を落ち着かせ、1時間目から授業に集中できる素地を作る、という良い習慣だと感じています。しかも、好きな作家さんの作品を読めるなんて！素敵ですよ。

昨年もこのコーナーでお伝えしたように、私の好きな作家は、鉄道紀行分野で有名な宮脇俊三さんです。この方は当時の国鉄(=現在のJR)全線に乗られています。宮脇さんはすでに故人ですし、その記載も40年前くらい昔の内容です。しかしながら、活字を読むと自分の経験と相まって、その情景・景色が目の前にまるで現在であるかのように、不思議と浮かんで来るのです。

先月の朝読書では『インド鉄道旅行』、今月は『中国火車旅行』と続けて海外シリーズを読んでいます。私はインドを訪れたことがあります。道路に牛が横臥していたこと、白さが際立つタージマハルに行ったことも、本を読んで思い出しました。他方、中国を訪れたとき、顔立ちが異なる様々な少数民族が行き交う北京駅のこと、そして大連駅前から路面電車に乗ったことを思い出しました。中国語で「火車」とは列車のこと。ちなみに、自動車は「汽車」と書きます。

さて、最近の私は海外旅行系 YouTuber さんの動画をよく視聴します。世界各国の最新の様子を美しい4K 高画質で見ることができるようになりました。その結果、「YouTube による現在の様子」+「かつての私の実体験」+「本の記述」が相互にリンクすることに気がきました。これらの三つの時間軸が融合し、情景を豊かに想像できる時代に、今、私たちは暮らしています。皆さんも、将来この瞬間をきっと体験できると思いますよ。

(担当：)



『インド鉄道旅行』
宮脇俊三



『中国火車旅行』
宮脇俊三



『秋から冬のしきたり』味元敬子 386ね

十三夜やハロウィン、七五三などの秋の行事がこの本、一冊に詳しく書かれています。「秋といったらこれ!」というような行事がとても詳しくかかれていたので読んでいて、新しく知ったことがたくさんありました。また、秋以外にもクリスマスやお正月などの冬の行事も書かれているので、沢山の行事を知ることができます。

(担当：)



『中高生のスポーツハローワーク』 スポーツを仕事にしたい君に
皆さんは、好きなことを仕事にしたいですか？スポーツ関連の仕事をしたい人に僕は、この本をお勧めします。この本は、実際に15人の経験、挫折などが書かれています。さらに、多くのスポーツの仕事を紹介しています。トレーナー、心理学者、理学療法士や管理栄養士、通訳などの仕事があり、実際に仕事をしている人たちから、話を聞いているので、とても分かりやすいです。

さらにこの本では、スポーツに関わる仕事に就きたい人に、わかりやすく、アドバイスや、どのようなことをしたらなれるかなどが書いてあります。

ぜひ、気になる人は読んでみてください。

(担当：)

『たかこさんのお弁当 おかず便利帖』 稲田多佳子 596い

今回私が紹介する本は、時短でできるおいしいたくさんのバリエーションがあるおかずのレシピ本です。その中でも特にお弁当に合うおかずを多く特集しており、ハンバーグ、生姜焼き、海苔巻き、つくねなどの様々な種類の弁当のおかずが載っています。私は特に塩唐揚げや、韓国肉肉じゃが、鳥の照り焼きなどを作りたいと思っています。ぜひ皆さんもこの本を参考におかずづくりに挑戦してみてください。

(担当：)



私と読書 先生

伊坂幸太郎



『夜の国のクーパー』
伊坂幸太郎著 913い



『PK』
伊坂幸太郎著 B913い
近日入荷予定

「こう考えることにしました。」「まずは押してみるべきだと。押せば石はうごくかもしれない。もしくは、地面に食い込む山のようにびくともしないかもしれない。けれど、押してはみるべきだ。」

「俺は、言われたことをやるんじゃなくてな、自分で、やるべきだと思ったことをやることにした」 『夜の国のクーパー』伊坂幸太郎

「臆病は伝染する」,,,「そして、勇気も伝染する」 『PK』伊坂幸太郎

目標を達成しなくても、なぜ行かなくてはならないか分からなくても、まずは行動してみることが必要だと感じた本のセリフの一部である。

自分のやるべきことは何か、自分には何ができるのか、心に響く言葉があります。

本の面白さはたくさんありますが、本を読むとその時の自分に必要な言葉が心に引っかかります。それも本が面白い理由の一つだと思っています。そんな言葉を集めてみるのも楽しいかもしれません。

是非、図書室に行き様々な本に出会ってください。

(担当：)